

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,374,483	初期投下固定資産取得費等に対する補助
その他		
合計	2,374,483	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県DX推進計画
第2章 目指す姿と政策の方向性 III各分野のDX 10 産業・労働
 (3) デジタル産業の強化・誘致推進
- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027年度）
II-3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 (2) 次世代を見据えた産業の振興
 ③ 県内産業の活力の強化と新事業展開の推進
- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
4 新次元の地方分散対応プロジェクト
 (1) 戦略的な企業誘致の推進・工場用地開発

(2) 国・他県の状況

全国で44道府県が企業誘致の優遇策（補助金等）を設けている。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	企業立地促進事業補助金
補助事業者（団体）	県内に事業所を設置する企業 （理由） 県内への企業立地を促進するため
補助事業の概要	（目的） 県経済の活性化及び県民生活の安定化 （内容） 県内に進出が決定した企業の事業所設置に係る初期投下固定資産額（土地、建物、償却資産）等を助成する。
補助率・補助単価等	定率 （内容） 初期投下固定資産額の10分の1以内等 （理由） 他県の助成制度との比較など
補助効果	企業立地に伴う税収増、県内雇用の確保
終期の設定	終期令和9年度 （理由） 企業誘致を推進するうえで、継続的な補助金制度が必要

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>企業が行う事業所の新增設事業への支援を継続して実施することにより、県内への企業立地を促進し、地域経済の活性化、雇用の確保等を図る。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H30-R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (H30-R9)	達成率
①新規企業立地 件数（累計） ※「清流の国 ぎふ」創生 総合戦略KPI	280	329	360	405	450	73%

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	2,487,271	2,630,900	2,302,654

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	令和4年工場立地動向調査では、本県の製造業の立地件数は56件で全国3位、立地面積も69haで全国3位となり、共に全国平均(19.6件、27.2ha)を上回っている。
	指標① 目標：— 実績：248 達成率：— %
令和5年度	令和5年工場立地動向調査では、本県の製造業の立地件数は32件で全国7位、立地面積が27haで全国14位となり、立地件数は全国平均(15.9件、30.9ha)を上回っているが、立地面積は全国平均(30.9ha)を下回っている。
	指標① 目標：270 実績：280 達成率：104 %
令和6年度	令和6年工場立地動向調査では、本県の製造業の立地件数は49件で全国3位、立地面積が51haで全国6位となり、共に全国平均(18.2件、42.2ha)を上回っている。
	指標① 目標：315 実績：329 達成率：104 %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	工場立地や事業拡大を検討している企業の事業実施へのインセンティブになっており、県内における雇用創出、税源涵養、地域経済への波及効果の面から事業の必要性は高く、県として積極的に取り組むべき事業である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	令和5年工場立地動向調査では、本県の製造業の立地件数は49件で全国3位、立地面積が51haで全国6位となり、新規企業立地件数(累計)は令和6年度の目標値を上回っている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	県内への企業立地を促進するため、関係市町村及び県が連携を図り積極的な企業訪問、企業要望に対しワンストップサービスによる支援の実施を行っている。また、市町村と連携し誘致先となる用地開発にも注力している。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 引き続き、県内企業の海外・県外流出防止、他県・海外との競争力の確保、県外企業の誘致を図る必要がある。また、誘致先となる用地開発を促進する。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 補助金等経済的支援に頼った誘致だけでなく、企業に寄り添ったマンツーマン型支援を実施していく</p>
